

20/4/27 河村市長定例記者会見（名古屋城部分）

名古屋市民オンブズマンによる半自動文字起こしアプリによる文字起こし

記者：朝日新聞です。市長、残りの任期1年切りでしたがけれども残りの任期でぜひとも成し遂げたい政策ですとか抱負ですとかを語っていただきたいと思います。

市長：まああとどうするかは南無阿弥陀仏ということだもなあと何度もお話をしとるんですけど。

やることはそりゃどえりや仰山ありますけど、一番は士農工商を打ち破ること減税がシンボルとしてきた。今がその最たるもんじゃないですか。こんだけ庶民が苦しんどるのに最近ようやくなんか給料を減らそうとか、それ1年だけでしょ。本質論出てこうせんがね、これ。

パブリックサーバントはどうなったんだというのを基本的にやり直さないかん。

議員の家業化を止めていくということです。日本だって第二次世界大戦の時迄はそんな風ではなかったんだで。

ほれから名古屋は名古屋でお城はちゃんとやらないかんし。ね、福祉はほんでもまあええ感じじゃないかと思えますけど、減税分は。1千億減税したら1千億税収が増えたと、前から前のところから増えた。下からいくと2千億増えた。ええ福祉の街になつとると思えます、どうにかね。

あとはまずは子どもさんですね。何遍も言いますがそれもそれが最大の問題ですね、多分日本の社会にとっても。子供さんがまっと学校が楽しなるようにするということですね。それは、文部省も悩んでござる。

不幸が絶えない、ほんとに。何が遺憾のだろうかとこれ、根本的に。

日本の教育は何が遺憾のだろうか、という話ですわ。

その挑戦は始まってますけどね。名古屋は始まるとるけど、えらいこったですわ。

そんなところですか。言いかければ切りがないですわ。

国がパット変わってくれるのが一番早いっていう。

それは戦後復興型の今これ役人主義ですから日本は。

そんなことばかりやっているもんだでGAFに負けてまったがねえ。

負けてまって遙か彼方にその下中国の何とか言いますが。大丈夫かねこれという話ですわ。

司会：よろしいでしょうか。